

嚥下評価の検討に関する調査のお知らせ

肺炎は、重症化につながることもある怖い病気です。原因の一つに食べ物や飲み物などをむせる、いわゆる誤嚥があげられます。特に、脳卒中を発症した場合、嚥下機能が障害され、誤嚥が生じやすくなる場合があります。脳卒中の集中治療を担う(SCU)私達は、常日頃から、誤嚥機能の観察や予防ケアに取り組んでいます。

この度、小倉記念病院のSCUでは、入院時の初期嚥下評価の結果を過去の診療録から調査することにしました。
この調査により今後の嚥下評価の方法を検討するために役立てたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2015年月から2016年8月の間にSCUに緊急入院した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、意識レベルや、麻痺の状況、食事状況などについて情報を得、統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

SCU看護師 中西優子

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000(代)

